

氏 名 菊 地 淳 一



所 属 ・ 職 名 理科教育講座 (生命・地球科学)・助教授

研究室電話番号 0742-27-9197 (ダイヤルイン)
0742-27-9289 (FAX)

電子メールアドレス kikuchi@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 京都大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学 (1992)
農学修士 (京都大学 1989)

所 属 学 会 等 日本菌学会, 日本林学会, 関西菌類談話会, 日本生態学会

専 門 分 野 菌類生態学

研究と教育について

研究テーマはキノコの生理生態とその応用です。キノコの仲間のうち一部のものは樹木の根と共生し(菌根菌), 樹木の養分吸収を支えています。キノコや根といった普通は目につかないことから森を説明したいと思っています。野外のキノコと菌根の空間分布の調査, また, 菌根菌の植林への応用として, 熱帯のラワンの苗木に菌根菌を接種する研究などをインドネシアでやっていました。様々な森林のキノコの調査を行っていきたいと考えています。

20年前にキノコの研究を始めた時には, 名前の付いていないキノコ(名前を付ければ新種)がそこら辺にうじゃうじゃいることを知って驚きましたが, 今もその状況は変わっていません。本を読むと自然についてはわかっているかのような気分になりますが, 少なくともキノコに関しては広大な未知の領域がフロンティア(or 泥沼?)のように広がっています。実際に自分でまわりの生き物に触れてみて, 分からないことの中から少しずつ分かる部分を広げていく, その方法を学んでもらえればと思います。

主な研究業績

- Ectomycorrhizas of dipterocarps in logged-over forests and plantations, in Plantation technology in tropical forest science p207-210. Springer Verlag, Tokyo (2005).
- Spatial distribution of sporocarps and the biomass of ectomycorrhizas of *Suillus pictus* in a Korean pine (*Pinus koraiensis*) stand. J. For. Res. 8:17-25 (2003).
- 熱帯雨林を支える菌根ネットワーク エコソフィア 16:11-16 (2005)
- カラーアトラス有毒キノコ(共訳)(2003) 廣川書店
- 森林微生物生態学(共著)(2000) 朝倉書店

主な授業担当科目

生物学概論 II(教員養成課程), 遺伝学(教職科目), 遺伝学実験法, 生体機能論 II, 生体機能論演習 II

学 会 活 動

社 会 的 活 動

講 演 の テ ー マ